

第1回目(10/3)ミニテスト

学籍番号 _____

名前 _____

問1 児童虐待の影響として考えにくいものはどれか。1つ選びなさい。

- a. 身体的損傷
- b. 即自的心理的障害
- c. 施設への措置等処遇上の問題
- d. 遅延性の心理的障害
- e. 経済的問題

問2 代理ミュンヒハウゼン症候群の説明としてもっとも正しいものはどれか。1つ選びなさい。

- a. 親が子どもが病気であるかのように装ったり、大袈裟に表現したり、病気を作り出し、その結果子どもに不必要な診断検査、薬物投与、入院、さらには手術を受けさせたりすること。
- b. 子どもにわいせつな行為をすること、または、わいせつな行為をさせること。
- c. 子どもの心身の正常な発達を妨げるような著しい減食、または、長時間の放置。
- d. 子どもに対する著しい暴言、または、拒絶的な対応。
- e. 子どもの身体に外傷が生じ、または生じる恐れのある暴行を加えること。

問3 虐待の心理的影響について誤っているものはどれか。1つ選びなさい。

- a. ネグレクトは身体的虐待よりも心理的に有害であることが示されている
- b. 身体的虐待と被虐待児の攻撃性には関連が認められていない。
- c. 児童虐待は攻撃性と不安から抑うつまで様々な心理的問題と関連がある。
- d. 身体的虐待を受けた子どもの4分の1から2分の1（あるいはそれ以上）にPTSDが認められることを示した研究がある。
- e. 虐待の被害者であることに対する罪悪感、自責感などの反応にも、もっと関心を持つ必要がある。

問4 次の中で誤っているものはどれか。1つ選びなさい。

- a. 身体的虐待だけが身体的有害作用をもたらす。
- b. 代理ミュンヒハウゼン症候群は重篤で致死的な児童虐待の一型である。
- c. 身体的虐待がより重篤で長期間持続していた場合にPTSDのリスクはさらに大きくなる。
- d. 児童虐待と虐待的な家族への介入によって子どもと家族に著しく有害な処遇上の影響がありうる。
- e. ひどいネグレクトの結果体重が減少し、精神運動発達が遅延することがある。